

ご挨拶



「日本文化研究の国際的情報伝達スキルの育成」は、平成19年度に文部科学省の大学院改革支援プログラムに採択された教育プログラムであり、その先駆けとなった「魅力ある大学院教育イニシアティブ」による事業「＜対話と深化＞次世代女性リーダーの育成」（平成17年度～18年度）での国際日本学の研究と教育をもとに発展してきました。

本プログラムは、人文社会系で高度な研究資質を持つ大学院生の国際的コミュニケーション能力を錬磨することにより、日本の文化を効果的に発信しつつ、グローバル化する世界の多様な分野でリーダーシップを発揮し得る優れた人材の養成を目指しています。この目的達成のため、国際的な現場での教育、情報伝達スキルの錬磨、副専攻「日本文化論」の設置という3本の柱を中心に国内外で様々なプログラムを実施してまいりました。

今年度も、お茶の水女子大学を会場として、国際日本学シンポジウムや海外9大学が参加する国際日本学コンソーシアムを開催し、日本学研究・教育の世界的ネットワークをより強固なものにすることができました。

また、海外提携大学の学生とのジョイントゼミ（北京外国語大学や国立台湾大学、パリ・ディドロ（第7）大学等）、教壇実習（同徳女子大学校、ヴァッサー大学等）、インターシップ（リズ大学、漢陽大学等）、アカデミック・ディスカッション（清華大学、北京大学等）、調査研究（イギリス国立公文書館、北京大学図書館、ホーネル図書館等）を通じて得た国際的経験は、学生たちにとって論文執筆の大きな刺激となったことでしょう。

プログラムは本年度が最終年度となりますが、多様化する国際社会に因應べく、これまでの成果を今後の教育課程に取り込んでゆく予定です。お茶の水女子大学は130余年の伝統を更に展開して、新しい時代に活躍する女性の育成に努めてまいります。

今後ともご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成22年3月

国立大学法人お茶の水女子大学長
羽入 佐和子

羽入 佐和子